

とりぎん

経済動向

鳥取県経済 3月の動き

概況

■県内の経済活動

鉱工業生産指数（季節調整済=以下季調済）では、前月比で生産は4ヶ月ぶりに低下。出荷（季調済）は4ヶ月ぶりに低下し、在庫（季調済）は2ヶ月ぶりに低下した。建設関係では、前年同月比で新設住宅着工戸総数は減少、公共工事請負金額は減少した。個人消費では、前年同月比で新車販売台数は増加し、大型小売店販売額は3ヶ月ぶりに增加了。雇用情勢は、有効求人倍率は2ヶ月ぶりに上昇の0.98倍となった。

■全国の鉱工業生産指数（2月、季調済）は、前月比で2.4ポイント低下した。

- 【生産活動】 鉱工業生産指数(原指数)は、前年比で上回った。出荷指数(原指数)も前年を上回り、在庫指数(原指数)は前年を下回った。
…P. 2
- 【大口電気使用量】 3ヶ月連続で増加。
- 【水産業】 漁獲量は2ヶ月連続で減少も、漁獲金額は5ヶ月連続で増加。
…P. 3
- 【建設】 公共工事は、件数、請負金額ともに12ヶ月ぶりに減少。
…P. 4
生コン出荷高は、3ヶ月ぶりに減少。
新設住宅着工戸数(総数)は、2ヶ月連続で減少。
- 【個人消費】 県内3百貨店売上高は、3ヶ月ぶりに増加。
…P. 5
新車販売台数は、7ヶ月連続で増加。
- 【雇用情勢】 新規求人数は19ヶ月連続で増加し、新規求職者数は8ヶ月連続で減少。
…P. 6
新規求人倍率（季調済）は1.59倍と前月より低下。
有効求人倍率（季調済）は2ヶ月ぶりに上昇し0.98倍。
- 【企業倒産】 負債総額は2ヶ月ぶりに減少。
…P. 6
- 【経済指標】 …P. 7
- 【相談ジャーナル】 …P. 10
- 【山陰海岸ジオパークについて】 …P. 13

生産

【鉱工業生産動向＝2月】

■季調済指数（前月比）

生産指数は、96.6（前月比▲5.8%）と4ヶ月ぶりに前月を下回った。

上昇した業種	低下した業種
金属製品、電気機械、輸送機械など	電子部品・デバイス、パルプ・紙・紙加工品など

出荷指数は、80.9（同▲3.3%）と、4ヶ月ぶりに前月を下回った。

上昇した業種	低下した業種
食料品・たばこ、パルプ・紙・紙加工品など	電子部品・デバイス、電気機械、窯業・土石製品など

在庫指数は、104.1（同▲3.3%）と2ヶ月ぶりに前月を下回った。

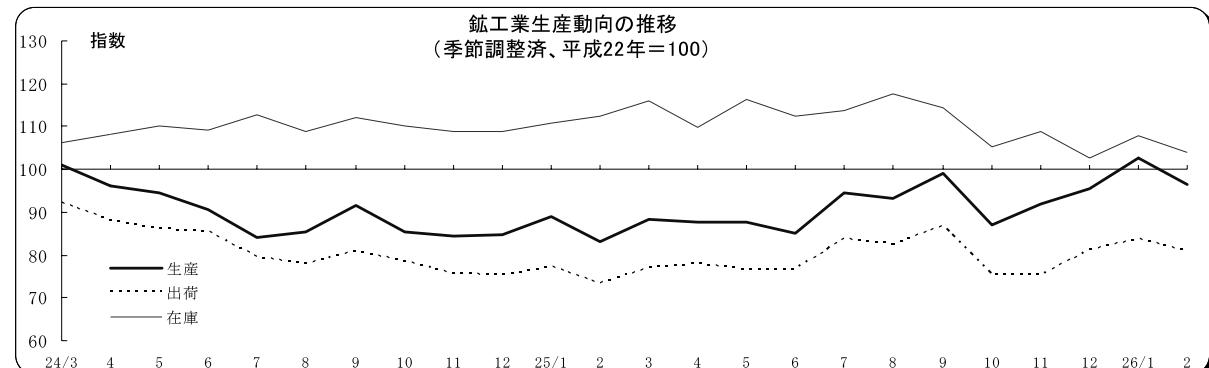
上昇した業種	低下した業種
鉄鋼、食料品・たばこ、一般機械など	木材・木製品、プラスチック製品、電気機械など

■原指数（前年同月比）

生産指数は、90.6（前年同月比+16.2%）と8ヶ月連続で前年を上回った。

出荷指数は、78.1（同+10.5%）と3ヶ月連続で前年を上回った。

在庫指数は、104.2（同▲7.3%）と3ヶ月連続で前年を下回った。



	鳥取県業種別鉱工業生産指数（平成22年=100、前月比・指数は季節調整済、前年比は原指数）												全国 鉱工業 生産 22年= 100	
	鉱工業		鉄鋼業	金属製品	一般機械	電気機械	電子部品	窯業	プラスチック製品	パルプ・紙・紙加工品	織維	食料品		
	ウエイト	10,000.0	156.7	464.6	326.6	1,706.2	3,833.2	115.3	196.0	888.1	345.1	1,386.5		
	指 数 前月比		前 年 比											
22年	—	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
23年	—	—	102.7	108.6	199.0	96.1	95.0	93.4	79.8	52.0	101.5	99.9	113.5	
24年	—	—	93.2	112.1	202.9	83.3	66.2	81.8	88.5	40.5	95.2	104.1	113.3	
25年	—	—	90.3	111.6	249.1	71.1	45.5	78.1	102.6	40.5	99.7	95.8	111.0	
25.2	83.2	▲ 6.5	▲ 31.5	98.9	181.0	73.6	44.7	61.7	89.7	39.8	105.1	92.4	95.1	
3	88.2	6.0	▲ 14.3	104.9	237.9	92.8	46.6	74.9	85.8	40.8	118.0	92.7	110.2	
4	87.6	0.7	▲ 7.0	108.2	261.8	50.5	43.7	63.3	77.6	45.4	67.2	102.5	115.6	
5	87.8	0.2	▲ 7.0	111.2	248.2	52.6	40.4	65.6	95.7	37.9	106.8	104.5	116.9	
6	85.2	▲ 3.0	▲ 7.5	113.0	224.6	53.8	44.4	70.9	110.5	40.2	109.0	98.3	112.3	
7	94.6	11.0	14.4	125.0	229.2	75.9	47.4	95.3	105.0	40.5	110.0	100.1	104.0	
8	93.3	▲ 1.4	7.4	109.9	227.9	68.2	45.9	79.7	89.8	37.6	108.1	88.2	104.6	
9	99.2	6.3	8.3	115.9	251.4	86.7	48.2	98.7	115.0	39.7	107.3	92.7	104.6	
10	86.9	▲ 12.4	1.6	124.4	282.5	69.9	47.0	80.0	127.3	40.2	86.2	102.2	117.6	
11	92.0	5.9	8.9	118.7	309.8	88.7	52.3	83.1	132.0	44.6	58.8	98.3	121.7	
12	95.4	3.7	14.8	115.0	324.8	82.5	46.3	87.3	117.1	42.8	103.6	91.1	119.1	
26.1	102.6	7.5	15.3	118.8	326.6	69.1	47.5	86.4	95.2	36.7	118.8	83.8	93.5	
2	96.6	▲ 5.8	16.2	114.9	346.0	98.7	52.4	64.7	104.6	36.4	108.3	89.3	93.9	
26年2月の指 数(季調済)	96.6	—	—	120.7	347.0	75.9	56.4	73.0	103.3	36.1	111.7	94.9	114.3	
													101.5	

※pは速報値、rは修正値

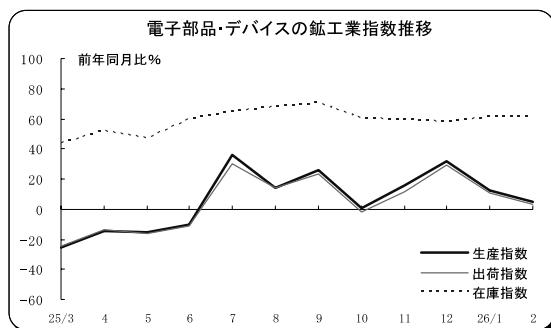
生産

【電子部品・デバイス】

～生産指数は8ヶ月連続で上昇～

電子部品・デバイスの生産動向(2月)は、液晶素子などが低下し、季調済指数(前月比)では▲18.3%となった。

区分	原指数	前年同月比	
生産指数	64.7	4.9%	8ヶ月連続
出荷指数	61.0	3.2%	4ヶ月連続
在庫指数	268.5	61.2%	23ヶ月連続

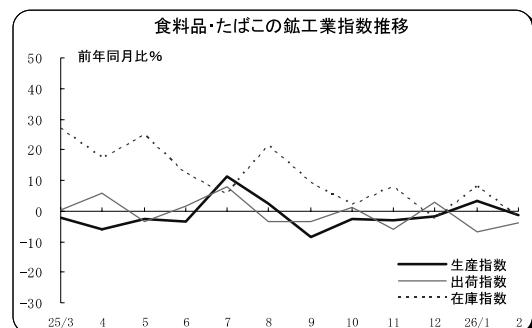


【食料品・たばこ】

～生産指数は2ヶ月ぶりに低下～

食料品・たばこの生産動向(2月)は、冷凍水産食品、生菓子などで低下したもの、その他の食料品で上昇し、季調済指数(前月比)では+2.1%となった。

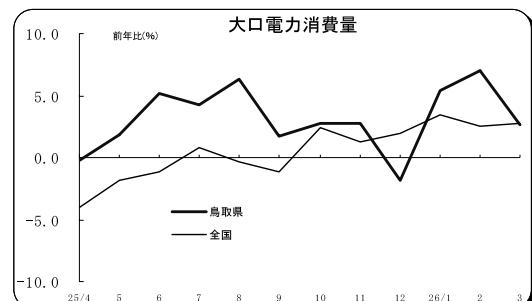
区分	原指数	前年同月比	
生産指数	93.9	▲1.3%	2ヶ月ぶり
出荷指数	96.6	▲3.8%	2ヶ月連続
在庫指数	153.7	▲2.3%	2ヶ月ぶり



【大口電力消費量】～3ヶ月連続で増加～

3月の大口電力使用量は、前年同月比+2.6%と3ヶ月連続で上回った。

地域	前年同月比	
中国地方	5.2%	9ヶ月連続
全 国	2.8%	6ヶ月連続

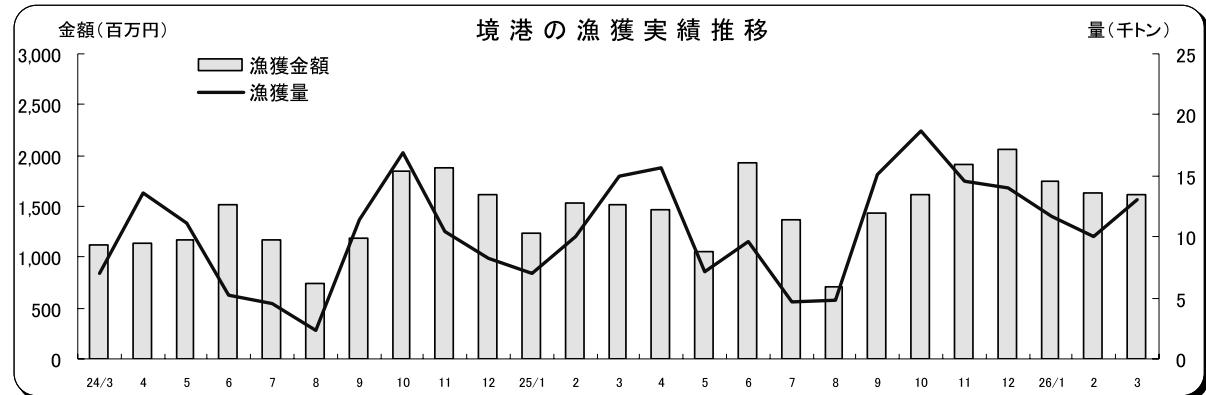


【水産業】～漁獲金額は5ヶ月連続で増加～

境港の3月の漁獲量は13,039トン（前年同月比▲12.9%）と2ヶ月連続で前年を下回り、漁獲金額は16億8百万円（同+6.3%）と、5ヶ月連続で前年を上回った。

《魚種別水揚げ高》

上回った魚種	漁獲量	増加率		下回った魚種	漁獲量	減少率	
サバ	5,237トン	11,537.8%	3ヶ月連続	アジ	765トン	33.7%	4ヶ月ぶり
片口イワシ	4,565トン	85.3%	2ヶ月ぶり	マイワシ	0トン	100.0%	2ヶ月連続
ベニズワイガニ	1,040トン	14.9%	4ヶ月連続	スルメイカ	8トン	68.0%	4ヶ月連続
				その他	1,424トン	48.1%	5ヶ月ぶり



建設

【公共工事】～件数、請負金額ともに12ヶ月ぶりに減少～

3月の県内の公共工事受注（西日本建設業保証鳥取支店の保証取扱）は、請負金額が110億82百万円（前年同月比▲7.9%）と12ヶ月ぶりに前年を下回った。件数も136件（同▲40.1%）と12ヶ月ぶりに前年を下回った。

請負金額を発注者別にみると、国は52億70百万円（2億円以上の主な大型工事）

発注者名	工事名称	工事場所
中国地整	鳥取西道路気高青谷トンネル第2工事	鳥取市
中国四国防衛局	美保格納庫新設等建築その他工事	境港市
日吉津村	日吉津村複合施設建設工事	日吉津村

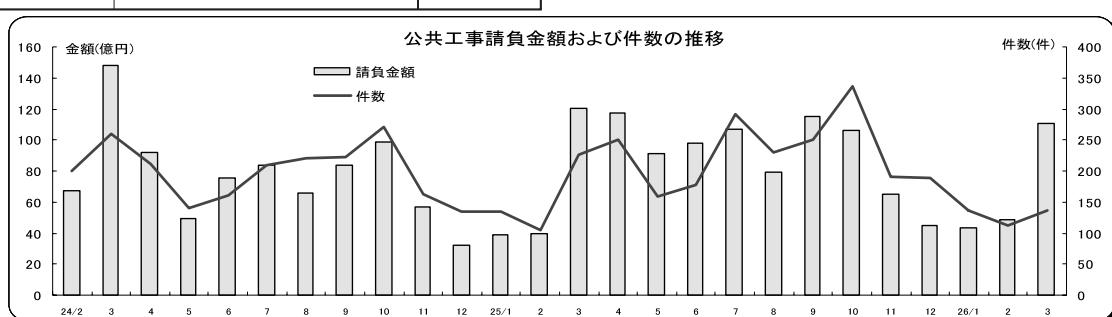
円（同+28.5%）、県は34億円（同▲33.0%）、市町村は13億10百万円（同▲43.5%）と国は増加するも県・市町村は減少した。

公共工事請負金額(平成26年3月)

(単位=億円、%)

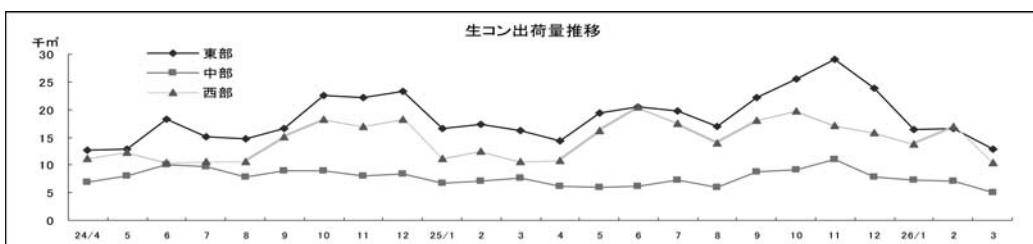
発注者別	地区別	工種別		前年同期比
		前年同期比	前年同期比	
国	東部	411.9	23.3	土木 668.6 16.7
独立行政法人等	八頭	82.3	105.3	建築 214.4 39.3
鳥取県	中部	135.2	0.3	電気 55.4 2.6
市町村	西部	332.9	16.3	管 28.6 5.3
その他の他	日野	64.0	58.8	測調設 49.8 140.4
合計		110.8	▲ 7.9	その他 9.5 30.9

資料=西日本建設業保証(株)鳥取支店の「公共工事動向」



【生コン出荷量】～3ヶ月ぶりに減少～

3月の県内の生コン出荷量(鳥取県生コンクリート工業組合まとめ)は、28,575m³(前年同月比▲17.0%)と3ヶ月ぶりに前年を下回った。地区別では、東部は3ヶ月連続で前年を下回り、中部は3ヶ月ぶり、西部も3ヶ月ぶりに前年を下回った。



【住宅着工】～総数は2ヶ月連続で減少～

3月の県内の新設住宅着工戸数は、総数が111戸（前年同月比▲9.0%）と2ヶ月連続で前年を下回った。

用途別では、持家は83戸（同▲14.4%）と2ヶ月連続で前年を下回った。貸家（賃与住宅含む）は22戸（同+15.8%）と3ヶ月ぶりに前年を上回った。分譲住宅は6戸（同±0.0%）と前年同値となった。

地区別では、持家では倉吉市が前年を上回り、鳥取市、米子市、郡部では前年を下回った。

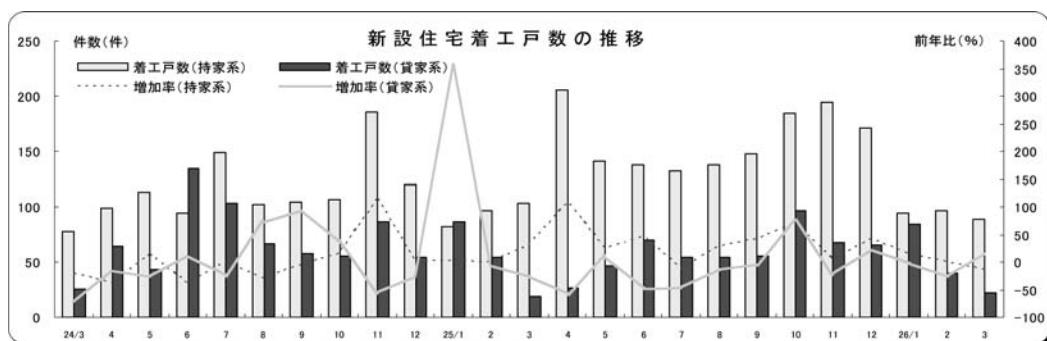
貸家系は米子市が前年を上回り、鳥取市、倉吉市

で前年を下回った。

地区別新設住宅着工戸数(平成26年3月)

(単位=戸、%)

総数	前年同期比	持家	前年同期比	分譲	前年同期比	貸家系	前年同期比	
合計	111	▲ 9.0	83	▲ 14.4	6	0.0	22	15.8
鳥取市	29	▲ 37.0	26	▲ 23.5	3	0.0	0	▲ 100.0
米子市	54	42.1	29	▲ 6.5	3	0.0	22	450.0
倉吉市	8	▲ 27.3	8	60.0	0	0.0	0	▲ 100.0
境港市	6	0.0	6	0.0	0	0.0	0	0.0
郡部	14	▲ 33.3	14	▲ 33.3	0	0.0	0	0.0



消費

【百貨店売上】～3ヶ月ぶりに増加～

3月の県内3百貨店の売上高は、18億47百万円（前年同月比+15.6%）と3ヶ月ぶりに前年を上回った。

上回った品目	衣料品（7ヶ月ぶり）、身回品（4ヶ月連続）、雑貨（2ヶ月連続）、家庭用品（2ヶ月連続）、食料品（2ヶ月連続）、サービス他（3ヶ月連続）
下回った品目	食堂・喫茶（7ヶ月連続）

◆参考

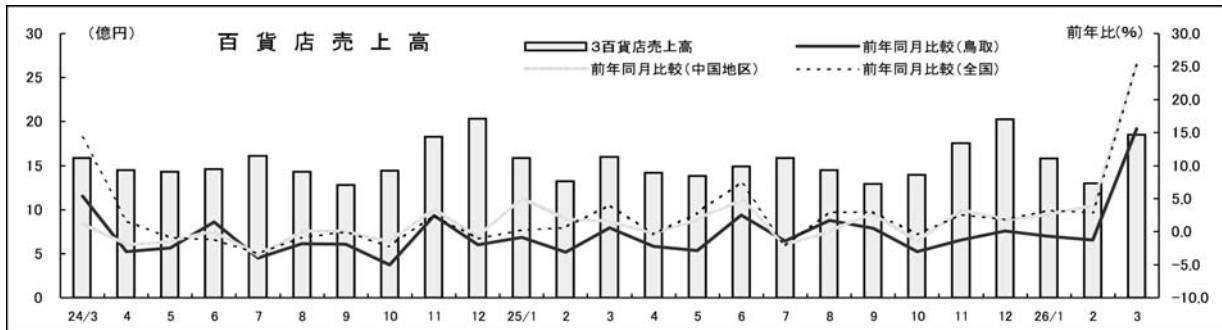
全国の売上高	前年同月比+25.3%と5ヶ月連続で前年を上回った。
中国地区の売上高	前年同月比+25.2%と5ヶ月連続で前年を上回った。

百貨店売上高

(単位=百万円、%)

	26年3月	前年同月比
合計	1,847	15.6
衣料品	732	8.8
身回品	182	39.3
雑貨	341	36.1
家庭用品	134	22.2
食料品	393	5.5
食堂・喫茶	38	▲1.5
サービス他	27	17.2

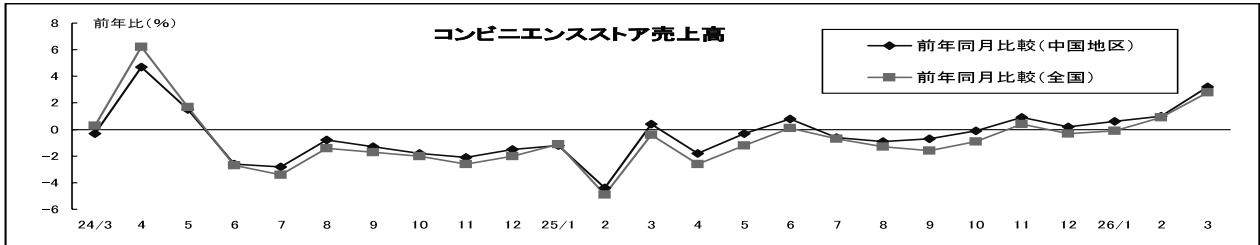
注：単位未満四捨五入



◆参考指標【コンビニエンスストア】

3月の中国地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年比+3.2%と5ヶ月連続で前年を上回った。

全国の売上高は、前年同月比+2.8%と2ヶ月連続で前年を上回った。…都道府県ごとの集計は行われていません



【自動車販売】～7ヶ月連続で増加～

3月の新車販売台数（軽自動車を含む）は、5,283台（前年同月比+20.6%）と7ヶ月連続で前年を上回った。また、中古車は619台（同+16.8%）と2ヶ月ぶりに前年を上回った。

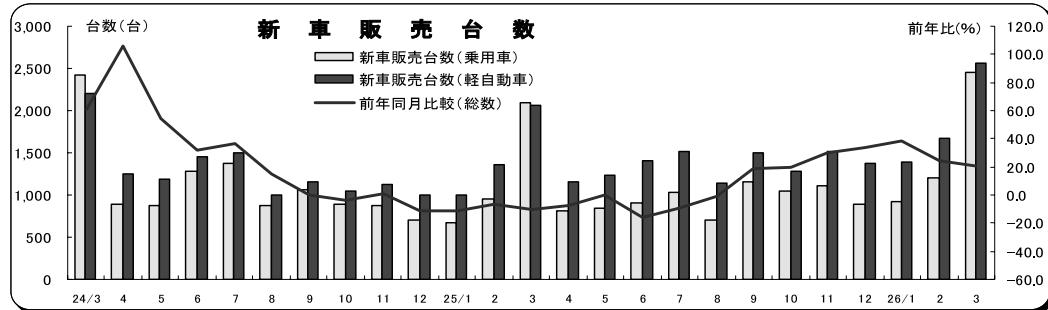
上回った車種	普通乗用車 軽自動車 貨物車 小型乗用車 バス	7ヶ月連続 9ヶ月連続 9ヶ月連続 7ヶ月連続 2ヶ月ぶり
下回った車種	なし	

自動車販売台数

(単位=台、%)

	26年3月	前年同月比
新車合計	5,283	20.6
乗用車	2,449	17.1
普通車	1,022	22.7
小型車	1,427	13.3
貨物車等	250	13.6
バス	15	25.0
軽自動車	2,569	25.0
中古登録車	619	16.8

資料 = 烏取県自動車販売店協会



雇用

企業倒産

～新規求人数は19ヶ月連続で上昇～

3月の県内の職業紹介状況をみると、新規求人件数は4,748人（前年同月比+3.8%）と19ヶ月連続で前年を上回り、新規求職申込件数は3,352件（同▲13.1%）と8ヶ月連続で前年を下回った。新規求人倍率（季節調整済）は1.59倍と前月（1.66倍）を0.07倍下回った。有効求人倍率（季節調整済）は0.98倍と前月（0.94倍）を0.04倍上回り、2ヶ月ぶりの上昇となった。

◆新規求人数一般・2,572人（+145人・+6.0%）

増加した業種	増加数	増加率(前年同月比)
運輸・郵便業	75人	64.7%
宿泊・飲食サービス業	55人	50.0%
減少した業種	減少数	減少率
医療・福祉	99人	16.2%
教育・学習支援業	35人	58.3%

◆パート・2,176人（+29人・+1.4%）

増加した業種	増加数	増加率
建設業	126人	630.0%
宿泊・飲食サービス業	83人	24.1%
減少した業種	減少数	減少率
医療・福祉	52人	15.5%
情報通信業	45人	81.8%

◆雇用保険受給者実人員・2,449人（▲17.8%）

16ヶ月連続で前年を下回った。

◆雇用調整助成金計画届受理状況(3月、休業対象)

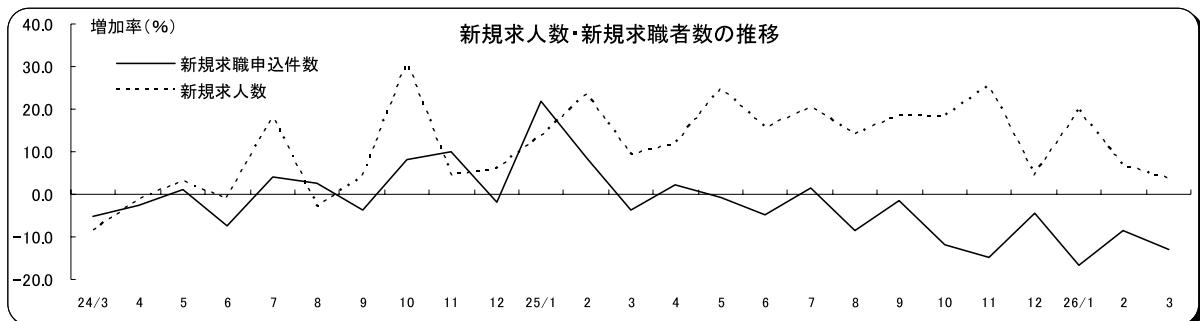
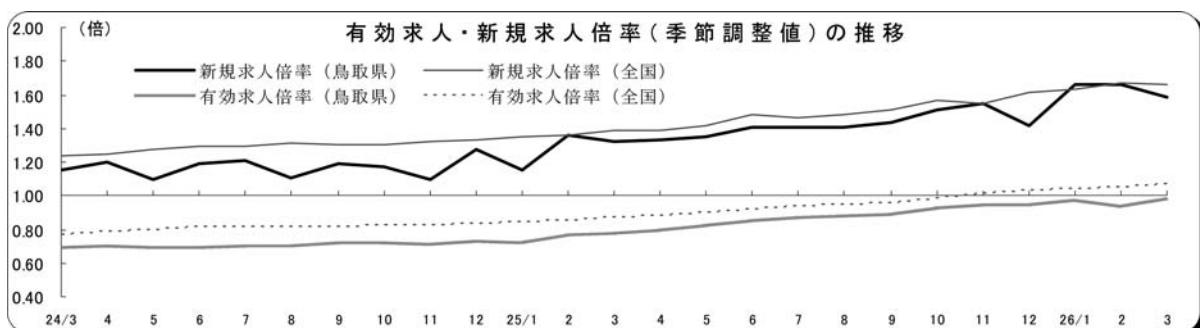
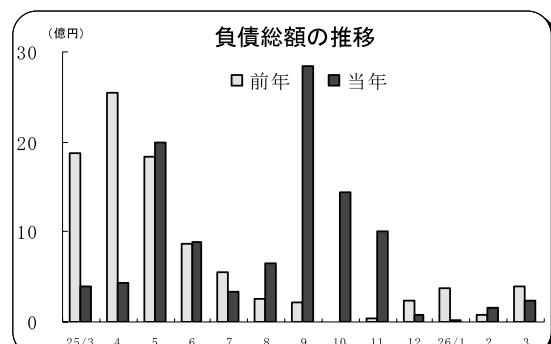
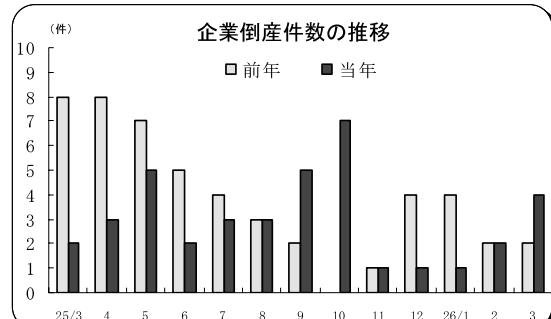
23事業所、306人（▲1,757人・▲85.2%）

～負債総額は2ヶ月ぶりに低下～

3月の県内企業の倒産（東京商工リサーチ鳥取・米子支店調、負債総額1千万円以上）は、4件（前年同月比+2件）で負債総額は232百万円（同▲168百万円）だった。

大型倒産（1億円以上）は1件だった。

地域	件数	金額(百万円)
東部	3	220
中部	1	12
西部	—	—



国 内 経 済 指 標

	実質国内 総生産 (季調済) 除く民需)	機械受注額 (船舶・電力 受注 (50社))	建設工事 受注 (50社)	所定外 労働時間 (製造業)	全 百 貨 店 販 売 額	貿易通関額		外国為替相場 米ドル 直物終値	基準割引率および 基準貸付金利	長期プライムレート	
						輸出	輸入			実施日	利率
年度比 前期比	年度比	年度比	前年比	前年比	億 円	円/ドル	年月日	年%	年月日	年%	
22年	3.4	7.0	▲ 5.2	33.0	▲ 3.0	673,996	607,649	81.51	2. 8.30	6.00	23. 5.10 1.55
23年	0.3	7.4	7.1	0.8	▲ 2.3	655,464	681,111	77.57	3. 7. 1	5.50	23. 6.10 1.50
24年	0.7	▲ 3.0	2.4	0.2	0.4	637,475	706,886	86.32	3.11.14	5.00	23. 8.10 1.35
25年			20.1	3.8	1.8	697,867	812,670	105.37	3.12.30	4.50	23. 9. 9 1.40
25. 3	(1-3)1.2	14.2	▲ 3.4	▲ 3.6	4.0	62,709	66,379	94.04	4. 4. 1	3.75	24. 3. 9 1.35
4		▲ 8.8	2.0	▲ 1.2	▲ 0.4	57,766	66,614	97.83	5. 2. 4	2.50	24. 5.10 1.30
5	(4-6)	10.5	26.0	▲ 0.7	2.8	57,666	67,630	100.63	5. 9.21	1.75	24. 7.10 1.25
6	0.9	▲ 2.7	21.9	1.3	7.5	60,614	62,422	98.83	7. 4.14	1.00	24.11. 9 1.20
7		▲ 0.0	13.7	4.4	▲ 2.2	59,605	69,884	97.85	7. 9. 8	0.50	25. 2. 8 1.15
8	(7-9)	5.4	21.4	7.2	3.0	57,829	67,458	98.06	13. 1. 4	0.50	25. 4.10 1.20
9	0.3	▲ 2.1	89.8	10.3	3.0	59,719	69,063	97.89	13. 2.13	0.35	25. 5.10 1.25
10		0.6	61.1	13.0	▲ 0.4	61,045	71,952	98.34	13. 3. 1	0.25	25. 6.11 1.30
11	(10-12)	9.3	2.2	15.5	2.6	59,004	71,945	102.24	13. 9.19	0.10	25. 7.10 1.35
12	0.1	▲ 15.7	4.9	13.3	1.9	61,096	74,138	105.37	18. 7.14	0.40	25. 8. 9 1.30
26. 1		13.4	15.2	17.0	3.3	52,524	80,441	102.49	19. 2.21	0.75	25.10.10 1.20
2	(1-3)	▲ 8.8	12.3	14.0	2.9	57,993	66,041	101.66	20.10.31	0.50	26. 1.10 1.25
3	1.5	▲ 8.8	14.8	p 25.3	63,836	78,295	102.98	20.12.19	0.30	26. 2.12 1.20	
調査機関	内閣府	国土交通省	厚生労働省	経済産業省	財務省		日本銀行		(株)みずほ銀行		

pは速報値、rは修正値 ※除携帯電話

鳥取県経済指標(1)

	推計人口 (注1)	推計 世帯数 (注1)	景気総合指数				電力消費量			公共工事保証実績		
			先 行 指 標	一 致 指 数	遅 行 指 数	総 数	前年比	大口電力	前年比	件 数	請負金額	前年比
単位	人	世帯	% 百万kWh			%	百万kWh	%	件	百万円	%	
22年	587,772	216,298				3,977.6	4.6	947.3	4.4	2,461	98,783	2.0
23年	585,475	213,183	90.3	105.5	80.5	3,849.1	▲ 3.2	871.7	▲ 8.0	2,129	71,736	▲27.4
24年	581,870	213,641	83.7	87	89.7	3,780.1	▲ 1.8	825.7	▲ 5.3	2,369	91,031	26.9
25年	577,642	214,069	106.8	112.2	97.4	3,714.2	▲ 1.7	834.5	1.1	2,542	102,241	12.3
25. 3	580,516	213,522	89.8	98.9	91.9	316.1	▲ 8.2	68.5	▲ 1.4	227	12,038	▲18.7
4	578,236	213,015	89.2	99.1	96.1	292.7	▲ 6.9	64.7	▲ 0.2	250	11,703	27.6
5	578,604	213,928	95.5	102.1	95.9	277.5	2.2	65.4	1.8	159	9,121	84.7
6	578,344	213,967	94.6	103.4	93.1	278.0	2.1	71.7	5.2	178	9,778	30.0
7	578,052	213,934	93.7	114.8	92.0	300.8	2.6	80.2	4.2	292	10,712	27.6
8	577,908	213,965	94.1	113.3	87.0	354.3	2.5	78.6	6.3	229	7,951	20.9
9	577,857	214,083	92.7	114.6	90.6	323.4	▲ 4.9	74.0	1.7	251	11,486	37.6
10	577,642	214,069	100.1	105.5	92.6	280.8	0.5	70.9	2.8	337	10,624	7.8
11	577,553	214,112	105.1	111.0	93.7	283.0	0.7	67.3	2.8	191	6,478	13.4
12	577,337	214,174	106.8	112.2	98.6	305.9	▲ 3.4	65.7	▲ 1.8	188	4,513	41.7
26. 1	577,120	214,222	109.9	133.2	97.1	365.0	0.4	68.2	5.4	137	4,337	11.2
2	576,711	214,135	106.0	119.3	105.7	347.1	2.6	67.1	7.0	112	4,851	23.2
3	576,422	214,111				325.8	3.1	70.3	2.6	136	11,082	▲ 7.9
調査機関	鳥取県統計課		中国電力(株)鳥取支社						西日本建設業保証(株)			

注1：年別は10月1日現在、月別は1日現在。

鳥 取 県 経 済 指 標 (2)

	出荷指數 (注1)	在庫指數 (注1)	新 設 住 宅 着 工					百貨店売上高		スーパー売上高 (注2)		
			総 数	前年比	持 家 (分譲を含む)	前年比	貸 家 (賃与を含む)	前年比	県内3 百貨店	前年比	県内13社 (既存店)	
単 位	前 年 比		戸	%	戸	%	戸	%	百万円	%	百万円	%
22 年	100.0	100.0	2,140	3.1	1,257	8.8	883	▲ 4.1	19,449	▲ 5.2	44,068	▲ 2.1
23 年	98.1	92.8	2,365	10.5	1,395	11.0	970	9.9	18,658	▲ 4.1	39,372	▲ 10.7
24 年	85.9	105.7	2,101	▲11.2	1,330	▲ 4.7	771	▲20.5	18,496	▲ 0.9	42,407	7.7
25 年	78.7	99.4	2,439	16.1	1,738	30.7	701	▲ 9.1	18,307	▲ 0.7	41,462	▲ 2.3
25. 3	▲18.3	9.1	122	17.3	103	32.1	19	▲26.9	1,598	0.6	3,382	3.4
4	▲ 9.4	1.4	233	42.1	206	108.1	27	▲58.5	1,418	▲ 2.2	3,290	▲ 2.5
5	▲11.2	5.7	188	20.5	141	24.8	47	9.3	1,385	▲ 2.9	3,379	▲ 3.8
6	▲12.3	3.0	208	▲ 8.8	138	46.8	70	▲47.8	1,494	2.5	3,443	3.2
7	8.0	0.9	187	▲25.8	132	▲11.4	55	▲46.6	1,587	▲ 1.4	3,562	1.9
8	3.5	8.2	192	13.6	138	35.3	54	▲19.4	1,450	1.7	3,838	▲ 3.8
9	6.1	2.1	208	28.4	152	46.2	56	▲ 3.4	1,290	0.5	3,231	▲ 0.8
10	▲ 4.0	▲ 4.3	281	72.4	184	72.0	97	73.2	1,393	▲ 3.0	3,263	2.5
11	▲ 0.9	0.0	262	▲ 4.0	194	4.3	68	▲21.8	1,755	▲ 1.3	3,345	0.2
12	9.9	▲ 6.0	237	36.2	171	42.5	66	22.2	2,029	0.1	4,335	▲ 2.2
26. 1	8.3	▲ 2.9	179	5.9	94	14.6	85	▲ 2.3	1,583	▲ 0.7	3,480	▲ 0.2
2	10.5	▲ 7.3	137	▲ 9.9	97	0.0	40	▲27.3	1,298	▲ 1.3	3,065	4.5
3			111	▲ 9.0	89	▲13.6	22	15.8	1,847	15.6	3,864	14.2
調査機関	鳥取県統計課		国 土 交 通 省				当 行	中国経済産業局				

注2：スーパー売上高のp(速報値)は経済産業省調べ

鳥 取 県 経 済 指 標 (3)

	新 車 販 売			中古車販売		消費者物価指数 ^(注3)		求 人 倍 率		常用雇用指數		
	乗 用 車	前年比	軽自動車	前年比	新規登録	前年比	鳥 取 市	前年比	新 規	有 効	事業所規模 30人以上	前年比
単 位	台	%	台	%	台	%	22年=100	%	倍 (季節調整済)	22年=100	%	
22 年	12,717	13.3	13,491	6.0	4,397	▲ 1.0	100.0	▲ 1.4	1.05	0.60	100.0	▲ 4.8
23 年	10,624	▲16.5	12,085	▲10.4	4,383	▲ 0.3	99.8	▲ 0.2	1.16	0.70	98.1	▲ 1.9
24 年	13,220	24.4	15,388	27.3	4,374	▲ 0.2	100.0	0.2	1.18	0.93	103.4	5.4
25 年	12,234	▲ 7.5	16,535	7.5	4,478	2.4	100.8	1.4	1.42	0.85	103.2	▲ 0.2
25. 3	2,092	▲13.6	2,055	▲ 7.0	530	▲ 3.5	99.4	▲ 1.1	1.33	0.78	101.6	▲ 0.7
4	816	▲ 8.4	1,156	▲ 7.7	428	10.3	99.8	▲ 0.6	1.33	0.80	104.1	▲ 0.4
5	848	▲ 3.1	1,232	3.4	415	18.6	99.9	▲ 0.4	1.34	0.82	103.8	▲ 0.2
6	900	▲30.1	1,399	▲ 4.0	374	2.7	99.8	0.0	1.44	0.85	103.2	▲ 1.2
7	1,030	▲25.5	1,509	0.7	381	▲ 2.6	100.1	0.7	1.44	0.87	103.7	▲ 1.3
8	698	▲20.8	1,144	13.6	355	▲ 6.1	100.6	0.9	1.42	0.88	103.8	▲ 0.7
9	1,154	8.2	1,504	30.6	350	4.5	100.6	1.0	1.47	0.89	103.5	▲ 0.9
10	1,050	16.9	1,288	22.7	395	16.5	100.6	1.0	1.56	0.93	103.5	▲ 0.7
11	1,111	28.0	1,514	34.6	323	▲ 8.0	100.7	1.1	1.59	0.95	103.5	▲ 0.6
12	897	27.6	1,375	37.2	330	▲10.8	100.8	1.4	1.42	0.95	103.6	0.0
26. 1	923	35.9	1,385	38.2	265	5.6	100.6	0.9	1.66	0.97	102.8	0.7
2	1,204	25.5	1,674	23.4	321	▲ 7.2	100.8	1.3	1.66	0.94	102.6	1.1
3	2,449	17.1	2,569	25.0	619	16.8	100.8	1.5	1.59	0.98		
調査機関	鳥 取 県 自 動 車 販 売 店 協 会					鳥取県統計課	鳥 取 労 働 局		鳥取県統計課			

注3：生鮮食料品を除く総合

鳥 取 県 経 済 指 標 (4)

単位	1世帯あたり消費支出 (2人以上の世帯)		常用労働者1人平均月間 現金給与総額 (事業所規模 30人以上)		通関実績(境税関支署管内)(注2)				境港漁獲実績			
	(注1)	前年比	輸出	前年比	輸入	前年比	数量	前年比	金額	前年比		
			円	%	百万円	%	百万円	%	ト ン	%	百万円	%
22年	286,149	▲ 0.7	287,488	1.2	59,415	49.7	40,907	24.1	118,535	▲ 0.5	15,363	▲ 7.0
23年	269,493	▲ 5.8	288,482	1.2	58,665	▲ 1.3	48,645	18.9	147,946	24.8	19,445	26.6
24年	276,867	2.7	292,172	▲ 0.9	49,695	▲ 15.3	41,951	▲ 13.8	114,258	▲ 22.8	16,262	▲ 16.4
25年	243,403	▲ 3.9	294,956	1.1	68,677	38.2	49,004	16.8	136,065	19.1	17,823	9.6
25. 3	304,552	▲ 17.4	247,288	▲ 0.8	5,592	30.8	4,793	36.1	14,968	112.7	1,513	34.1
4	286,674	▲ 13.6	252,233	0.1	5,468	22.9	3,461	10.0	15,620	15.3	1,462	27.8
5	247,283	▲ 2.3	247,770	1.3	5,375	41.6	3,326	▲ 19.1	7,079	▲ 36.6	1,052	▲ 9.9
6	237,456	▲ 4.3	426,175	0.0	6,429	36.5	4,917	51.5	9,597	85.6	1,924	27.0
7	233,672	▲ 8.0	331,611	3.5	6,002	40.1	4,330	15.0	4,638	1.4	1,362	15.8
8	257,806	2.2	255,466	0.0	5,985	50.7	5,205	70.2	4,798	108.6	715	▲ 2.7
9	240,366	4.0	250,040	1.7	6,258	49.6	4,867	57.7	15,144	32.7	1,440	22.2
10	246,698	▲ 7.8	246,609	0.2	6,528	43.0	3,532	▲ 16.7	18,619	11.0	1,613	▲ 12.6
11	267,275	7.7	245,593	0.2	6,202	50.9	3,571	38.7	14,564	39.9	1,918	2.1
12	325,971	8.7	542,905	4.5	6,364	43.9	4,534	20.2	13,968	69.9	2,057	27.6
26. 1	261,468	▲ 4.1	248,712	1.1	4,694	24.9	4,514	10.4	11,727	66.8	1,747	41.7
2	257,081	▲ 5.9	246,750	0.2	5,470	16.0	3,820	58.5	9,967	▲ 0.7	1,633	6.4
3	315,245	3.5			6,184	10.6	4,796	0.1	13,039	▲ 12.9	1,608	6.3
調査機関	総務省統計局	鳥取県統計課			境税関支署				(社)境港水産振興協会			

※注1：月平均、農林漁業世帯含む世帯。

※注2：美保(米子)空港を含む

鳥 取 県 経 済 指 標 (5)

単位	鳥取県銀行協会 会員銀行				不渡手形				企業倒産			
	預金	前年比	貸出金	前年比	枚数	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比
単位	億円	%	億円	%	枚	%	百万円	%	件	%	百万円	%
22年	20,040	2.7	11,172	0.7	302	▲ 49.3	328	▲ 51.8	32	▲ 49.2	8,365	▲ 58.3
23年	20,702	3.2	11,091	▲ 0.7	659	118.2	683	108.2	46	43.8	14,574	74.2
24年	20,707	0.0	10,999	▲ 0.8	449	▲ 31.9	276	▲ 59.6	48	4.3	9,383	▲ 32.5
25年	21,813	3.8	11,495	4.3	234	▲ 43.9	318	21.0	34	20.8	9,737	7.8
25. 3	20,999	2.2	11,463	2.1	5	▲ 91.2	2	▲ 95.5	2	▲ 75.0	400	▲ 78.6
4	21,025	1.7	11,284	2.9	33	▲ 57.7	19	▲ 63.9	3	▲ 62.5	442	▲ 82.6
5	21,035	2.1	11,278	3.7	12	▲ 74.5	8	▲ 45.9	5	▲ 28.6	1,992	8.9
6	21,879	2.5	11,277	3.4	4	▲ 33.3	2	▲ 64.3	2	▲ 60.0	898	2.4
7	21,479	3.1	11,294	3.7	12	▲ 66.7	14	▲ 5.0	3	▲ 25.0	326	▲ 41.2
8	21,544	3.2	11,303	3.1	1	▲ 88.9	1	▲ 66.7	3	—	660	67.2
9	21,275	2.9	11,411	2.7	92	557.1	131	1,935.4	5	150.0	2,834	1159.5
10	21,329	4.3	11,340	3.4	33	13.8	73	563.6	7	—	1,042	—
11	21,701	4.3	11,413	3.7	18	▲ 14.3	29	104.5	1	0.0	1,002	2405.0
12	21,813	3.8	11,495	4.3	15	15.4	29	318.6	1	▲ 75.0	71	▲ 70.9
26. 1	21,445	4.5	11,419	3.9	15	▲ 16.7	31	89.2	1	▲ 75.0	12	▲ 96.8
2	21,389	3.4	11,514	3.3	1	▲ 88.9	5	▲ 50.0	2	0.0	160	128.6
3	21,783	3.7	11,755	2.5	16	220.0	5	150.0	4	100.0	232	▲ 42.0
調査機関	鳥取県銀行協会				県内(3市)手形交換所				(株)東京商工リサーチ鳥取米子支店			

相談ジャーナル

鳥取銀行では毎週火曜日(倉吉中央支店)、水曜日(米子ローンプラザ)、木曜日(くらしと経営相談所)にて、税理士による無料税務相談を開催しています。お客様の個別・具体的な税金のお悩みに対して親切、丁寧に対応させていただきます。

※開催日につきましては、担当税理士の都合により変更される場合がございますので、事前に最寄の鳥取銀行の窓口までお問合せ下さい。

相談事例 ~Q & A~ 生前贈与と相続税

Q 生前贈与を行うことにより、相続税が軽減できると聞きましたが、どのようなことでしょうか。

A 生きているうちに財産の一部を贈与しておくことによって、いざ相続が発生したときの財産を少なくできる、つまり相続税の節税につながるという事です。

ただやみくもに贈与をすると「贈与税」がかかってきます。この贈与税、実は相続税よりもはるかに高い税率が設定されているため、「生前贈与」を行う際には、贈与税をなるべく低く抑えるということが重要なポイントです。

[オーソドックスな贈与の方法]

贈与税が課せられない生前贈与の方法として、手軽に誰でも利用できるのが、贈与をしても税金がかからない範囲（贈与税の基礎控除）内で贈与を行うという方法です。現在、贈与税の基礎控除は1年あたり110万円。この範囲内での贈与であれば、贈与税は課税されないということになります。

ただし、基礎控除の範囲内であったとしても、毎年、一定額を贈与していると、はじめから「総額〇〇円を贈与する意図があった」と見なされ、結局は総額に対する贈与税がかかってしまう場合もあります。基礎控除の範囲内であっても、毎年一定額を贈与する「定期贈与」は避けたほうが無難といえるでしょう。

[住宅資金贈与非課税制度]

贈与税が課税されないでまとまった金額を生前贈与する方法として、利用を検討したいのが「住宅資金贈与非課税制度」です。住宅資金を贈与する（してもらう）際に活用できる非課税制度で、住宅をこれから手に入れようとしている人が、父母・祖父母など直系尊属から住宅取得等のために資金の贈与を受けた場合で、その贈与を受けた年の翌年3月15日までにその資金を自分が居住する家の新築や取得・一定の増改築等のために使い、かつ自分で住み始めた場合に、一定額が非課税となります。（省エネ・耐震性を備えた良質の住宅用家屋の場合 10百万円など）

※詳細については税務署でお尋ねください。

～相談ジャーナル26.5～

参加費
無料
定員
先着30名

中小企業 経営者様向け 事業承継セミナー

平成26年

6/18

水

14:00~16:30
(受付 13:30~)

場所

米子コンベンションセンター
第2会議室
米子市末広町 294

※講演後に、事業承継等の個別相談会（予約制）を行います

第1部 14:00~14:30

テーマ 「投資育成制度の活用による 事業承継対策について」

講師 大阪中小企業投資育成株式会社

中小企業診断士・上席調査役 松永 良平 氏

【内容】公的な機関である「投資育成」とその事業承継への活用手法をご紹介いただきます。



八木 美代子氏
株式会社ビスカス
代表取締役

日本初の税理士紹介業を立ち上げる。相続コーディネーターとして著書「相続の現場55例」、日経マナー連載など多数執筆。新刊「相続、いくらかかる?」絶賛発売中。

第2部 14:40~16:20

テーマ 「事例で学ぶ よくわかる事業承継講座」

講師 株式会社 ビスカス 代表取締役 八木 美代子氏 ほか

【内容】これまで多くの相続・事業承継に携わってきた、ビスカス代表八木氏と、事業承継に詳しい税理士に、わかりやすく事業承継についてお話しいただきます。

テキストとして、八木氏著書の「相続の現場55例」を使用。実際にあった事例を題材に繰り広げられる対談を予定しております。

☆ご参加者全員に、テキストとして「相続の現場55例」を無料で差し上げます。→

対象 中小企業の経営者様
・後継者様ほか

定員 30名（先着順）

主催

株式会社鳥取銀行
鳥取県商工会連合会

後援

鳥取県商工会議所連合会

お申込み 下記の参加申込書に所定の事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
お問合せ なお、申込多数の場合は、先着順とさせていただきますので、ご了承ください。

株式会社鳥取銀行 ふるさと振興部 地域ビジネス推進室
[TEL]0857-37-0274 [FAX]0857-37-0222

担当：船越・大島
E-mail : chiiki@tottoribank.co.jp

鳥取県商工会連合会 産業支援部 経営企画課
[TEL]0857-31-5556 [FAX]0857-31-5500

担当：前畠
E-mail : shokoren@infosakyu.ne.jp

『事業承継セミナー』 参加申込書

個別相談のご希望 いずれかに○を記入ください

希望する

希望しない

事業所名	ご連絡先 お電話 FAX・E-mail 等	
ご参加者 お役職 ご氏名	ご参加者 お役職 ご氏名	受付店 担当者

経済日誌

‘14年4月

鳥取県内

1日【米子空港に新たにスカイマーク3路線就航】

スカイマーク(東京都大田区)の羽田、那覇、札幌の3路線が米子空港に就航した。米子空港を発着する那覇便の定期便就航は初めて。札幌便は他社が1999年に運休して以来。国内線は計6路線となり、中国地方の空港では最多となった。

3日【寿スピリットが東証1部上場】

寿製菓など19社の持ち株会社、寿スピリット(米子市旗ヶ崎)の株式が東京証券取引所の第2部から第1部へ指定替え(昇格)された。山陰両県での東証1部上場企業は5社目。

9日【美保湾で12年ぶりにヒラメ放流事業が再開】

県魚「ヒラメ」の放流事業が9日、境港市沖の美保湾で12年ぶりに再開された。県内の放流は寄生虫の繁殖で2003年から休止。沿岸漁業を代表する高級魚だけに、水産関係者が10センチに育った稚魚3万匹を丁寧に海に放った。

10日【東郷工業団地にパイオニア精工進出】

鳥取県と鳥取市は、金属プレス製品製造業「パイオニア精工」(本社・兵庫県姫路市)が、鳥取市本高の東郷工業団地内に進出すると発表した。撤退した旧ライツアドバンストテクノロジー社の工場の一部を活用。操業開始時期は未定だが、地元採用を含め約50人の雇用を見込んでいる。

23日【富士基礎機械が県・倉吉市と調印】

倉吉市に土木基礎機械部品製造の富士基礎機械(兵庫県尼崎市)が工場設置するのに伴い、同社と鳥取県、倉吉市の3者が知事公邸で協定書に調印した。

24日【JR米子駅南北一体化事業18年度着工へ】

JR米子駅の南北一体化事業について、2018年度の着工を目指す方針が、米子市、JR米子支社、県の3者が開催した協議会で確認された。JRの支社機能について、米子市内に支社を残す意向で、現地での改修か新築移転を検討していることを明らかにした。

29日【境港に本年度初のクルーズ船寄港】

境港に、2014年度初めてのクルーズ船が寄港した。英国船籍の「カレドニアンスカイ」で、豪州、ニュージーランドの乗客97人が降り立ち、中海圏域の名所を訪れた。境港管理組合によると、14年度のクルーズ船寄港は予約が20回になっている。

国内・海外

1日【消費税8%に】

消費税の税率が1日、5%から8%に引き上げられた。税率上げは1997年4月以来、17年ぶり。増税分は社会保障制度の財源に充てられ、一定の財政改善につながる。家計などの税負担は2014年度に5兆円程度増える。

1日【景況感5期連続改善】

日銀が発表した3月の企業短期経済観測調査(短観)は、最近の景況感を示す業況判断指数(DI)が大企業製造業で昨年12月の前回調査から1ポイント上昇のプラス17、非製造業で4ポイント上昇のプラス24といずれも5四半期連続で改善した。

7日【日豪EPA合意】

阿部首相はオーストラリアのアボット首相と会談し、経済連携協定(EPA)の締結で大筋合意した。オーストラリア産牛肉の関税引き下げや日本車の輸入関税撤廃を盛り込んだ。

15日【生産人口8千万割れ】

総務省が発表した人口推計によると、労働力の中核となる15~64歳の生産年齢人口が32年ぶりに8千万人を割り込んだ。65歳以上の高齢者は4人に1人となり、現役世代の社会保障費負担の増加が懸念される。

21日【貿易赤字が最大】

財務省が発表した2013年度の貿易統計によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は13兆7,488億円の赤字となった。初の3年連続の赤字。赤字額はこれまで最大だった12年度を上回り、最も大きくなった。

30日【物価見通し維持】

日銀は、2016年度までの経済と物価の見通しを発表し、2%の物価上昇目標を15年度実現との見通しを維持した。国内景気の現状判断は据え置いた。

30日【電力決算は赤字縮小】

電力10社の14年3月期連結決算が出そろった。値上げ効果で赤字幅は縮小したが、原発再稼動の見通しは立たず、火力発電の燃料費がかさむ高コスト経営からの脱却の道筋は示せなかった。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



発行 鳥取銀行ふるさと振興部
くらしと経営相談所

⑨680-8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857-37-0220

『山陰海岸ジオパーク』について

◆「ジオパーク」とは

「ジオパーク」とは、地質や地形が科学的に見て貴重な、あるいは美しい地質遺産を含む一種の自然公園です。ジオパークの活動は2004年にユネスコの支援で設立された、世界ジオパークネットワークにより取り組まれています。ジオパークの認定は、「場所」の地質学的、歴史・文化的価値などだけでなく、そこで行われている教育活動や地域振興策といった活動が重視され、4年に一度見直しも行われています。

◆「山陰海岸ジオパーク」の認定

「山陰海岸ジオパーク」は、平成20年12月、日本ジオパーク委員会から「日本ジオパーク」として認定を受け、平成22年10月にギリシャ・レスヴォス島で開催された会議で、「世界ジオパークネットワーク」に加盟が認定されました。平成25年12月には鳥取市の浜村、青谷両海岸や鹿野など西端エリアを拡大したエリアが日本ジオパークに認定されました。さらに、平成26年夏期に世界ジオパークネットワーク認定のための現地審査が行われる予定で、平成26年9月に結果が発表される予定です。

◆取り組み

山陰海岸ジオパークは、山陰海岸国立公園を中心に、京都府の経ヶ岬から鳥取県の白兎海岸にかけての東西約110km、南北最大30kmと広大な範囲に及びます。この広大なエリアには、絶景・歴史・文化・グルメなど数多くの見どころがあります。山陰海岸ジオパーク推進協議会では、ホームページやパンフレット等でジオパークを楽しむツアーなどのイベント情報や、遊覧船、レンタサイクル情報などジオパークを楽しむ情報を数多く発信されています。

【浦富海岸】



◆「山陰海岸ジオパーク」の推進に向けて

鳥取市経済観光部鳥取砂丘・ジオパーク推進課の岡田さんによると、「山陰海岸ジオパーク」の認定に向けた取り組みは、山陰海岸ジオパーク館の谷本館長が地元を元気にしたいと働きかけたことがきっかけのようです。山陰海岸ジオパークの活動は京都、兵庫、鳥取の3府県に及ぶため、各地域の足並みを揃えることが大変のことです。そのため、月に1度持ち回りで会議を開催したり、共同でイベントを行ったりと、連携を図っておられます。一方で複数地域にまたがることで、各地域の特産品を参考にしたり、ガイド交流会を行うなど、互いに良い刺激を受けながら活動できる利点もあるようです。現在、小学校での校外学習や、公民館での生涯学習など幅広く普及活動に力を入れておられますが、今後は、拡大された鳥取市西部地域において、あおや郷土館などの拠点施設へのパネル設置や、その地域の観光を活発化していく予定だそうです。認定後の観光客数は増加しているとのことで、山陰海岸ジオパークを通じて、もっと地元を活性化させたいという岡田さんの熱意が伝わってきました。

【鳥取砂丘】



◆「砂の美術館」第7期展示のご案内

山陰海岸ジオパーク認定エリアの鳥取砂丘では、4月19日(土)から第7期展示「砂で世界旅行・ロシア編」が始まります。世界遺産聖ワシリイ大聖堂をはじめ、世界三大美術館のひとつ、エルミタージュ美術館など、帝国の歴史や世界を魅了してやまない芸術大国ロシアが砂で再現されます。

【開館時間】9時～20時(最終入場は19時30分)※平成27年1月4日(日)までの会期中は年中無休

【入 場 料】一般600円、小中高生300円 (20名以上の団体は、一般500円、小中高生200円)

◆結び

山陰海岸ジオパークの魅力を活用した地域産業や学術研究、調査の推進を図ることを目的に、ツアーの補助金や学術研究奨励など各種の補助事業がございます。興味や関心をお持ちの方は、山陰海岸ジオパーク推進協議会や鳥取県、鳥取市の各担当部署にお問い合わせしてみてはいかがでしょうか。

鳥
砂
丘

砂の美術館

THE SAND MUSEUM

圧倒的スケールと

感動の砂の世界へ。

—第7期展示—

砂で世界旅行・ロシア編 —大国の歴史と芸術の都を訪ねて—



- ◆ 開館期間 / 2014.4.19～2015.1.4
- ◆ 開館時間 / 9:00～20:00
- ◆ 観覧料金 / 一般 600 円 (500 円) 小中高生 300 円 (200 円)
※() 内は 20 名以上の団体料金。
- ◆ 休館日 / 無休 ◆ お問い合わせ / TEL.0857-20-2231